**実証プロジェクト申込書（プロジェクト会員）**

Ver1.01

当該項目をすべて記入し、A4・5ページ以内のワードファイルあるいはＰＤＦの申込書をユニバーサル未来社会推進協議会事務局（universal-mirai@mext.go.jp）宛に電子メールでお送りください。事務局からの返信を持って、申込の受け付け完了となります。申込内容により、ヒアリング等を行う場合があります。

**Ⅰ．実証プロジェクト（プロジェクト会員）の応募条件**

**＜募集条件＞**

|  |  |
| --- | --- |
| 募集条件 | 該当する場合は  チェック欄に○を記入 |
| ①協議会の目的及びユニバーサル未来社会のビジョンに賛同し、ユニバーサル未来社会の実現に向けて、専門領域等を活かし、プロジェクト等に関して主体的に行動・提案すること。 |  |
| ②協議会の設立趣意・会則を尊重・順守し、協議会の諸活動に対して積極的に参加すること。 |  |
| ③公序良俗に反する、もしくは反社会的な企業・団体・個人でないこと。 |  |

**＜技術条件＞**

|  |  |
| --- | --- |
| 技術条件 | 該当する場合は  チェック欄に○を記入 |
| ①実証プロジェクトで使用する技術が、日本企業あるいは日本の研究機関が保有するロボット技術を活用していること。 |  |
| ②対象エリア（五輪競技会場周辺等）で、自らが用意する場所あるいはユニバーサル未来社会推進協議会が指定する場所（日本科学未来館等のある台場及び青海地域を想定）において２０１８年以降東京オリンピック終了までの期間中に一般向けの実証実験（実用展開も可）を行うことが出来ること。（その他の地域で実証実験を行う場合は、△を記入） |  |
| ③ユニバーサル未来社会の実現につながる顧客価値の体験を来場者に提供するものであること。 |  |
| ④本プロジェクトの結果を踏まえた事業化を想定していること。 |  |
| ⑤実証実験・実用展開において個人情報保護ならびに対人安全性について問題が生じないこと |  |
| ⑥法規制の緩和あるいは強化が行われなくても実証実験が可能な内容が含まれていること。（法規制の緩和あるいは強化が行われない限り実施できない場合は、△を記入） |  |

**Ⅱ．実証プロジェクト申込項目**

**＜基本情報＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ①企業名／団体名 | （ふりがな） | |
|  | | |
| ②所在地 | （ふりがな） | |
|  | | |
| ③実証プロジェクト責任者  氏名／所属／役職 | | （ふりがな） |
|  |
| （所属） |
| （役職） |
| ④実証プロジェクト事務  担当者連絡先 | | （事務担当者名） |
| （電話番号） |
| （メールアドレス） |

**＜提案概要＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ①実証プロジェクト名称 | | （ふりがな） |
| （名称） |
| ②実証プロジェクト内容 | |  |
|  | | |
| ③主な実証ターゲット  （対象とする顧客） |  | |
| ④ユニバーサル未来社会における顧客価値（この技術で何を達成するのか） |  | |
| ⑤日本企業あるいは日本の研究機関のロボット技術 | （技術保有団体／個人） | |
| （技術内容） | |
| ⑥提案内容がこれまでに実現されなかった主な理由と実現を可能とする主な要素 |  | |
| ⑦事業化への取組（製品化への技術的目途、社会実装時のサービス化の目途、開発／実装の時期、開発・実証予算の目途等） |  | |
| ⑧推進体制図と主要組織／メンバーの役割 |  | |
| ⑨本提案につながるこれまでの事業実績 |  | |
| ⑩実証の時期と場所の目途（本協議会で場所を準備する必要性がある場合はその旨も記載） |  | |
| ⑪予想されるリスク（実施を困難にする可能性のある事項、安全性と個人情報保護の観点から考えられるリスク） |  | |

**＜緩和あるいは強化を希望する規制等＞**

|  |  |
| --- | --- |
| ①緩和あるいは強化を希望する規制名 |  |
| ②緩和あるいは強化を希望する規制内容  （具体的に問題点と改正点について記載） |  |
|  | |
| ③緩和あるいは強化によってもたらされる効果  　（具体的に記載） |  |
|  | |

**＜備考（自由記載欄）＞**

|  |
| --- |
|  |